

東日本大震災と国際協力

東日本大震災には世界中の注目が集まりました。そして各国から届けられる日本への支援。その中には資金、技術、緊急援助、メッセージとさまざまですが、日本がODAで援助している開発途上国から多く集まっているのが、今回の特徴だといわれています。

JICAでも、職員を中心に義援金を集めました。あくまで個人の判断で個人のお金を寄付するもので、各国のJICA事務所からも職員や現地スタッフのほか、事務所が入っているビルのオーナーや、普段JICAと付き合いのある政府機関、さらには通りがかりの人まで、たくさんの方たちが義援金を送ってくださいました。こうした日本に対する気持ちや、被災地で日々の生活に困っている方々に少しでも届けばー。そう思います。

私たちが日ごろ付き合い合っている途上国でこれほどまでに支援の輪が広がっていることについて、感謝の念が絶えません。多くの日本人がさまざまな形で途上国の発展にかかわり、長年にわたって、顔の見える関係を築いてきたこと。そして途上国の人々が日本という国に対し、親近感を抱き、また信頼してくれていること。これは日本にとってかけがえのない財産といえるでしょう。

池上彰さんは「『情けは人の為ならず』が国際協力」とおっしゃいます。今回まさに、これまでの途上国に対するさまざまな協力が日本に返ってきたのです。「がんばれ、日本!」の声に応え、この震災からの復興経験を途上国に還元できる日が早く訪れるよう、私たちはこれからも日々の業務に全力で取り組んでいきます。

広報室広報課長 友成晋也

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

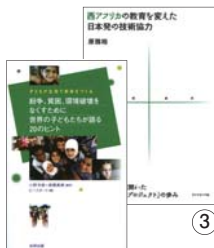
◎応募締切：2011年6月15日

Email: jica@idj.co.jp
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

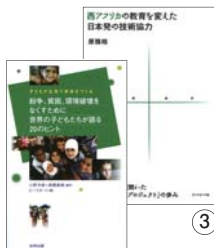
- ① ウズベキスタンの絹製品 (ご希望の商品名を明記ください)
- ② 書籍『子どもが主役で未来をつくる 紛争、貧困、環境破壊をなくすために世界の子どもたちが語る20のヒント』(p41参照)
- ③ 書籍『西アフリカの教育を変えた日本発の技術協力』(p41参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金の確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル
TEL 03-3584-2191
FAX 03-3582-5745
Email order@idj.co.jp



次号予告 (2011年6月1日発行予定)

コミュニティーフォレストリー

世界各地で加速化する森林破壊。途上国の人々が自らの力で森林を保全・管理できるようにし、人間の生活と自然環境を両立させていくためのJICAの支援を特集します。

JICA's World

MAY 2011 No.32

編集・発行 / 独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。